



日本で唯一の生産工学部
日本大学生産工学部

Ver. 1.0B



少数精鋭

起業

支援プログラム

在学中に本気で起業を目指す



モノづくりを**企**てよう。

目的

日本大学生産工学部から学生起業家を輩出することを目指します。
起業したい学生を本気で支援するプログラムです。

特 徴

- ①基礎的指導から事業プランや資金調達^(注1)まで一貫したサポートを提供します。
- ②経営コンサルタント2人^(注2)に対して学生は5人まで。マンツーマンに近い形式。
- ③学内の教授陣から専門分野のサポートが受けられます。
- ④学内のプロジェクト・ルームに専用デスクを用意します。
- ⑤学内で資金調達コンペティションを実施します。
- ⑥起業することが目的ですので、単位の認定は伴いません。
- ⑦途中で起業の熱意がなくなった学生の受講中止を認めます。

(注1) 一般に学生の起業の場合は、銀行から融資を得ることが難しいと言われています。この課題に対して起業支援プログラムでは、担当コンサルタントのサポートのもと、公的機関等を利用して資金調達することを目指します。ただし、借入金等の返済が必要な資金の受け入れは行わないものとします。

(注2) 全体を統括するインキュベーションマネージャと技術的側面から支援するテクニカルアドバイザーの2名です。

実施スケジュール

参加者の状況に合わせた個別の伴奏型支援スタイルです。

個別相談を中心に、学生の進み具合と希望に応じてフレキシブルに対応します。

年間実施スケジュールの例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	募集	選抜										
			初學者向け基礎講義			オーダーメイド型実践起業指導						
			参加学生と進める起業進捗課題相談支援 ＜創業計画作成、マーケティング戦略、資金調達、組織、登記等＞									
			参加学生個人に合わせた伴走型個別相談支援 ＜製品化、プロトタイプ開発、法律等＞									
						学内資金調達コンペティション						成果発表
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	伴走型個別相談支援・起業進捗課題相談支援											成果発表

カリキュラム

このプログラムは、在学中の起業に向けて一貫したサポートを提供するために6種類のカリキュラムを用意しています。まず基礎講義を短期間集中的に実施する「初学者向け基礎講義」、次にオーダーメイドでミニレクチャーを実施する「オーダーメイド型実践起業指導」、ゼミ形式で進捗と課題を確認し助言を行う「起業進捗課題相談支援」、オンライン形式で個別の具体的な課題に対する相談指導を実施する「伴走型個別相談支援」、1年目上期終了時点の進捗状況を発表する「学内資金調達コンペティション」、1年目の成果を発表する「1年目の成果発表」、最後に起業後の状況を最終成果を発表する「2年目の成果発表」から構成されています。

カリキュラム一覧

	カリキュラム	内容	ゴール
1年目	初学者向け基礎講義	・1年生やEntre-to-Be未受講者向けに基礎講義を短期間集中的に実施	・事業計画書を作成するための基礎知識の習得
	オーダーメイド型実践起業指導	・学生が共通して知識不足の状況にあるテーマに対して、オーダーメイドでミニレクチャーを実施して実践的に指導（財務会計、資金調達、登記、プレゼン等を想定）	・必要知識の習得 ・切磋琢磨の意識の醸成
	起業進捗課題相談支援	・ゼミ形式で教室に会して、インキュベーションマネジャーを中心として、進捗と課題確認と助言を実施 ・指導内容は主に、起業するためのシーズ探し、市場ニーズの検討による製品コンセプト作り、マーケティング戦略と資金調達、創業計画書の作成と磨き上げ、組織作りと法人登記等を想定	・創業計画書の完成 ・資金調達の実現 ・法人登記の完了 ・参加学生の切磋琢磨の意識の醸成
	伴走型個別相談支援	・オンライン形式で、テクニカルアドバイザーを中心として、個別により具体的な課題に対する相談指導を実施 ・指導内容は主に、製品コンセプトの具現化（スペック、製造原価）、製品プロトタイプの開発とフィージビリティ検証（事業化の課題発見・解決）、法的課題の整理などを想定	・製品プロトタイプの完成 ・製品原価表の完成
	学内資金調達コンペティション	・上期終了時点の進捗状況を学生が発表 ・発表内容を審査し、評価に応じて学生に必要資金を提供	・課題把握と下期活動計画 ・起業資金の獲得
	成果発表	・事業計画書と製品プロトタイプを発表 ・起業のための学内資金調達コンペの位置づけ	・大学への成果発表
2年目	成果発表	・当プログラムのOB/OGが参画して、起業後の状況を最終成果発表会のエキシビションとして報告	・大学への状況報告 ・後輩学生のモチベーション向上

エントリーについて

① 選抜試験を実施します。

簡易創業計画書の内容と起業意欲により審査・選抜します。（詳細は別途公開します）

② エントリー可能な学年は、学部1年生、学部3年生、修士1年生とします。

学部1年生は「入学時の熱い思いを実現するための起業支援」を目的とします。

学部3年生は「4BE修了生の起業支援」を目的とします。

修士1年生は「専門知識が豊富な大学院生の起業支援」を目的とします。

③ エントリーに際して簡易創業計画書の提出を求めます。（詳細は別途公開します）

Q & A

① Q: 経営学の勉強をしたことがありませんが申込みできますか。

A: 申込の条件として、経営学の知識の有無は問いません。

② Q: 4BEとの併願は可能ですか。

A: 4BEとの併願は可能です。

③ Q: 学費以外の費用はかかりますか。

A: 学費の追加はありません。ただし、活動中に実費で費用が発生することはあります。

日本大学 生産工学部

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 津田沼キャンパス

TEL: 047-474-2271 (就職指導課), FAX: 047-479-2432 (代表)

<https://www.cit.nihon-u.ac.jp/>

